



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2024-2025 R.I.テーマ  
ロータリーのマジック

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00 第2・4週 12:30~13:30
例会会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355
会長	古本良子	幹事	谷野秀之 会報委員長 上野宗久

### 第1897回例会 2024年9月17日(火)

2024年10月1日発行 第1698号

#### 会長の時間 古本良子会長

ロータリークラブに於いて、9月は『基本的教育と識字率向上月間』です。識字率は国や地域における教育水準や生活水準を示すためにも用いられています。字を認識出来ない人は世界で約7億7,300万人いるとされ、多くは貧困・紛争・女性蔑視という理由で教育が受けられないのです。日本を含む東アジアや北米、ヨーロッパ地域では高い識字率となっていますが、発展途上国では低い傾向にあります。(※日本に於いても、識字率は100%では無い)特にチャド、ニジェール、南スーダンといったサハラ以南アフリカでは識字率が40%を下回り、男性よりも女性の識字率が低い傾向にあります。識字率が低いと、病気で薬を処方されても正しい服用方法が解らないので5歳未満児の死亡率が高くなります。紛争地域では文字が読めなく地雷で命を落とす危険があります。また、単調な仕事や危険な仕事をするしかなく、貧困から抜け出せない負の連鎖に陥ってしまいます。2015年に国連サミットで採択されたSDGsでも識字率の向上が重要視されており、2030年までに全ての若者及び大多数の成人が、識字と基本的計算能力を有する事を目標に定めて活動を行っています。本を読んだり、音楽を聴いたり、人とコミュニケーションを取ることは、私たちの生活を豊かにする手段の一つです。全ての人たちが識字能力を身につける権利があり、識字率の向上によって当たり前前の生活を行っていく必要があります。識字は人間が人間らしく生きる基本的条件の中で最も重視すべき要件だと思います。この月間で、私たちは何をどうしたら良いのか考え、そして行動に移す良い機会かと考えます。識字率が低いことがもたらす不幸に思いを寄せてプロジェクトを模索することはロータリアンにとって大変意義深いことだと思います。

#### ～ロータリーの特別月間 Special Month in Rotary～

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(RI)理事会が指定した月間のことです。なお9月、10月には日本独自の月間テーマが設定されています。

7月 母子の健康月間	8月 会員増強・新クラブ結成推進月間
9月 基本的教育と識字率向上月間	10月 地域社会の経済発展月間
11月 ロータリー財団月間	12月 疾病予防と治療月間
1月 職業奉仕月間	2月 平和構築と紛争予防月間
3月 水と衛生月間	4月 環境月間
5月 青少年奉仕月間	6月 ロータリー親睦活動月間



#### 幹事報告 谷野秀之幹事

##### 地区事務所より

- ・ポリオプラス・ソサエティ参加申込書提出先について
- ・ポリオプラス・ソサエティ参加申込書について
- ※全員個別配布

## 卓話 古本良子会長

### ～ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) について～

ロータリーの創始者、ポール・ハリスにちなんで名づけられたポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金プロジェクトに毎年1,000ドル以上をご支援くださる方を認証するためのプログラムです。この支援で実現できることとして、以下の内容がございます。



- ・南アフリカで、幼児教育センター設立のため、教員を集めた職業研修を実施。
- ・インドで、フッ素中毒を防止するため、浄水フィルターと衛生設備を設置し、保健指導を実施。
- ・イタリアで、未熟児の死亡率を下げるための研究奨学金を医療従事者に提供。
- ・ウガンダで、教員 200 人と生徒 1,300 人を対象とした平和構築セミナーを開催。
- ・マリで、マラリア予防のため防虫加工された蚊帳と医療サービスを提供。

ポール・ハリス・ソサエティの歴史は、1999 年、第 5340 地区で地区運営の認証プログラムとして始まり、ロータリー財団管理委員会は 2013 年 7 月 1 日からロータリー財団の公式認証プログラムとして採択しました。世界の全ロータリー会員のうち、PHS 会員となられる方はわずか 3% ですが、その寄付額は年次基金に対する年間寄付額の 35% を占め、財団にとって貴重な資金リソースとなっています。毎年の寄付をお約束いただけるロータリー会員に登録していただき、登録証と PHS メンバーのピンバッジを受け取っていただくものです。多くの会員の皆様にこのプログラムをご理解いただきまして、ご参加賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

### ☆PHS メンバー上位国

1. 米国 14,938
2. 韓国 5,285
3. インド 1,432
4. 日本 1,272
5. カナダ 1,037
6. フィリピン 1,002
7. 台湾 903
8. オーストラリア 651
9. ブラジル 544
10. メキシコ 336

### ～ポリオ・プラス・ソサエティ (PPS) について～

皆様ご存じの通り、国際ロータリーの最優先事項は『ポリオの根絶』です。ポリオ（急性灰白髄炎）は非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは 5 歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。神経系を侵すこともあり、これによって身体のみひを引き起こす可能性があります。治療法はありませんが、安全なワクチンで予防が可能です。ロータリーとそのパートナー団体は、これまで世界中 25 億人以上の子どもにワクチンを投与する活動を行ってきました。GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）では、2026 年を根絶目標年としており、根絶までもう少しというところまでまいりました。然しながら、自然災害、政治紛争などの厳しい状況下で根絶資金の確保は今まで以上に大切になっております。ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくために、多くの方々にご参加をお願いするものです。「ポリオ・プラス・ソサエティ：The Polio Plus Society (PPS)」プログラムは、すでに多くの国々のロータリー会員が参加しており、毎年 100 米ドルをロータリー財団の『ポリオプラス基金』への寄付をお約束いただけるロータリー会員に登録していただき、登録証とソサエティメンバーのピンバッジを受け取っていただくものです。なお、この寄付はロータリー財団の寄付実績に反映され、ポール・ハリス・フェロー認証の対象となり、クラブ実績にも反映されます。また、ビル&メリンダ・ゲイツ財団より 2 倍の上乗せがあります。こちら『ポール・ハリス・ソサエティ』同様に、多くの会員の皆様にこのプログラムをご理解いただきまして、ご参加賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

出席報告	9月17日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	9/3修正率
	夜間	18	11	2	7	62.5%	56.25%

**ニコニコボックス報告** 10名 合計金額 10,000円 累計金額 87,000円